※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３１９ |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 国語演習Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 新訂版　正しく読み・解くための　ちからをつける現代文　ステップ 2.5(数研出版)<br>新訂版　正しく読み・解くための　ちからをつける古典　ステップ 2.5（数研出版）<br>即戦ゼミ入試頻出　新国語問題総演習　四訂版（桐原書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・高校生活で学んだ基礎的な文法や句法の知識を用いて、様々な現代文・古文・漢文の読解を行います。
・習得した知識を生かしてより深く作品を理解し、伝統的な言語・文化に対する関心を持ちましょう。
・記述式の問題に取り組むことで解答を作成するための方法を学ぶとともに、出題の意図を理解して生きましょう。
・予習、復習は必ず行いましょう。（予習の仕方は授業の中で説明します。）
・定期テストや小テスト、日々の課題の提出に向け、学習計画をしっかり立てて取り組むようにしましょう。

## 2　学習の到達目標

（1）
現代文の基礎となる漢字や語彙、古文の文法事項・語彙・歴史的背景、漢文の句法や用字法などを身につけ使いこなす。特に現代文については、接続詞等に目を向け、文章の構造を把握する読解力を身につける
（2）
論理的思考を養い、思考力を伸張し、自分の考えを適切に表現する。
文章を読み、理解することで社会性を身につけ、情緒豊かな感性を養う。
（3）
課題に積極的に取り組む姿勢を身につける。さらにお互いの取り組みを比較することでよりよい解答・結果を目指す。また、提出物等の期限を守れるようになる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|

※令和４年度以降入学生用

| | | | |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。<br>漢字、古文単語といった語彙力を身につける、言語力を高めている。 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。<br>問題演習に取り組みながら自分の考えに基づいた解答を作成することができている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。<br>繰り返し問題に取り組むことで、よりよい解答を作成することを目指している。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 現代文の読解力を高める<br>［教材］<br>新訂版　正しく・解くための力をつける現代文　ステップ2．5 | a：文章を読むことを通じて漢字や言葉の意味を学び、身につけることができる。<br>b[読]：身につけた語彙力を生かして問題に取り組み、読解力を高めることができる。<br>c：自分の現状を振り返り、できていないこと習得しようと取り組むことができる。 | 問題集<br>定期考査 | 問題集<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 古文・漢文の読解力を高める<br>［教材］<br>新訂版　正しく読み・解くための力をつける古典　ステップ2．5 | 古文・漢文を読むために必要な知識を身につけ、活用することができる。<br>b[読]：身につけた知識を活用しながら問題演習に取り組むことができる。<br>c：自分の現状を振り返り、できていないこと習得しようと取り組むことができる。 | 問題集<br>定期考査 | 問題集<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 解答作成能力を高める<br>［教材］<br>新訂版　正しく・解くための力をつける現代文　ステップ2．5 | a：文章を読み、問題に取り組むことを通じて解答を作成することができる。<br>b[書]：出題意図や問題の意図を考え、自分の考えに基づいた解答を作成することができる。<br>c：自分の解答と模範解答を比べ、自分に足りないことを明確にし、改善しようと取り組むことができる。 | 問題集<br>定期考査 | 問題集<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| 後期 | 現代文の読解力を高める<br>［教材］<br>新訂版　正しく・解くための力をつける現代文　ステップ2．5 | a：文章中で使われている語からより語彙力を高め、難解な文章でも読み解くことができる。<br>b[読]：身につけた語彙力を活用して、文章中の語句の意味を推測し、より深く理解するための読解力を高めることができる。<br>c：自分の現状を振り返り、できていないこと習得しようと取り組むことができる。 | 問題集<br>定期考査 | 問題集<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 古文・漢文の読解力を高める<br>［教材］<br>新訂版　正しく読み・解くための力をつける古典　ステップ2．5 | 古文・漢文を読むために必要な知識を身につけ、活用することができる。<br>b[読]：身につけた知識を活用しながら問題演習に取り組むことができる。<br>c：自分の現状を振り返り、できていないこと習得しようと取り組むことができる。 | 問題集<br>定期考査 | 問題集<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 解答作成能力を高める | a：問題の意図に則った正しい解答を書くための方法を理解している。 | 問題集<br>定期考査 | 問題集<br>定期考査 | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［教材］<br>新訂版　正しく・解くための力をつける現代文　ステップ2．5 | b[書]:問題の演習を通じて、より高度な解答を作成することができる。<br>c:自分の解答と模範解答を比べ、自分に足りないことを明確にし、改善しようと取り組むことができる。 | | | ワークシート<br>振り返りシート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　２０　　）時間

・読むこと　…　（　　５０　　）時間